

考えたこと、ありますか? 〈11月30日は「いい看取りの日」です〉

人生の最期の過ごし方



あなたは、人生の最終段階をどんな風に過ごしたいですか?

大阪市の調査では、「万一、治る見込みのない病気になったら、最期を自宅で過ごしたい」と回答した方が40%を超えています。

医療や介護が必要になっても、最期まで住み慣れた場所で自分らしく過ごすために、「在宅医療・介護」を選ぶのも方法のひとつです。

在宅医療・介護について

淀川区在宅医療・介護連携推進会議WGメンバーの西村裕之先生にお聞きました

メリット	デメリット
◆ 住み慣れた自宅で過ごせる ◆ 家族のそばに居られる ◆ 病院や施設に行く負担がない ◆ 家族が常に様子を見ることができる	◆ 緊急時に検査や手術がすぐできない ◆ 家族の心身の負担が増える ◆ 通院よりも金銭面の負担が増える

Q1 在宅で医療や介護を受けたい!

A1 まずは医療機関や地域包括支援センターに相談してみてください!

状態によって、相談先が異なりますのでご注意ください。

入院中の方 早めに担当医や看護師、病院の地域医療連携室へ

通院中の方 かかりつけ医へ

かかりつけ医がない方 お近くの地域包括支援センターへ

その後、介護保険の手続きや専門家のご紹介、ご希望や状態に合わせ専門家チームが作られ、在宅医療・介護サービスが始まります。

自宅環境の整備(段差解消等)なども介護サービスのひとつですよ!



地域包括支援センターHP



にしむら ひるゆき
西村 裕之 さん

淀川区在宅医療・介護連携推進会議WGメンバー
西村内科・神経内科クリニック院長
一般社団法人 大阪市淀川区医師会 理事

Q2 住み慣れた家で過ごしたいけど、ちょっと不安……。

A2 気持ちは変わるもの。いつでも教えてください!

在宅医療・介護はご本人の「自宅に居たい」という気持ちを実現させるものです。しかし、その気持ちは変化するもの。ご本人が自らの意思を、その都度ご家族や在宅医療・介護のチームに伝えてください。「淀川区夢ちゃんマイノート(私の思い)」を利用するのもいいですね。



夢ちゃんマイノート

Q3 もっと詳しく話を聞きたい!

A3 講演会に参加してみませんか?

在宅医療・介護講演会 無料 手話通訳あり

日時 11月19日(金) 14:00~15:30

場所 区役所5階 会議室

講師 薬剤師 奥田 大地さん / 薬剤師 進藤 祐久さん

内容 健康サポート薬局とかかりつけ薬剤師 / 在宅医療における薬剤師の関わり

定員 30名(申込先着順)

申込 10月13日(水) 9:00~11月5日(金) 17:30 電話にて 詳しくは▶

申込問合せ 保健福祉課(健康づくり) 2階22番 ☎6308-9882

Web
同時開催!

お薬相談(同時開催)

時間 13:15~(1人15分)

定員 4名(申込先着順)

